

駒の子短歌

No.28 令和4年7月27日(水) 佐久市立望月小学校

7月27日(水)、1学期終業式を行いました。

校長講話では、1学期を振り返って「豊かさを感じたこと」をテーマに伝えました。

時間が15分と限られていますので、伝える内容を絞るのに苦心しましたが、子どもたちが自分の頑張りがや友だちの頑張りが思いやりなどを感じ、豊かな気持ちになってほしいと願いました。

講話の一部と感想を紹介します。



この望月小学校は、たしかに「『豊かさ』がいっぱいあるなあ。」と思いました。特に身近に感じる「豊かさ」は、「企画や呼びかけを考える豊かさ」かな、と思います。

高学年になればなっていくほど、先生の力を借りず、自分たちで物事を進める事が増えていきます。クラスの係や当番から、委員会活動やクラブ活動まで、児童だけですべてやる様になる6年生だからこそ、そう感じます。

テーマ（学習問題）



3つの木はどう育っているかな？

3つの木のうち特に育っている木は学び合いの木だと思います。

その理由は、今国語の授業で「聞いて考えを深めよう」というみんなで話し合う勉強をしているからです。**話し合うことでみんなと学び合うことができます。それに話し合うことで自分の考えを見直したり深めたりできる**からです。

なので学び合いの木が育っていると思います。

YIさん



学び合う＝豊かさ

チームで作戦を考えたりレーで



進んで行動＝豊かさ



陰で支える＝豊かさ

一学期、76日間で特に学び合う豊かさと、進んで行動の豊かさを1番感じる一学期でした。

学び合いは、授業の中で話し合いの時間がありました。そのときに意見交換で「私はこう思います。」「自分はこういう意見です。」という話し合いで、自分の意見を見直してみたりして学び合いの豊かさが多い一学期だと思いました。

進んで行動の豊かさは、進んで手を挙げる、進んで何かをやる等ができたからです。

一学期 豊かさテーマに 振り返り

よさ認め合う 望月の子ら